

C O N T E N T S

- 1 目次
- 2 「住友化学レポート2024」発行にあたって
- 3 メガトレンド
- 5 トップメッセージ

Identity

- 13 住友化学の企業理念
- 15 住友化学の歴史
- 17 5つの事業領域
- 19 財務ハイライト
- 21 経営として取り組む重要課題とKPI
- 23 価値創造フロー

Strategy

- 27 中期経営計画および構造改革の進捗
- 33 財務戦略
- 35 IR活動
- 37 住友化学のリジェネラティブ農業
- 41 イノベーションの推進
- 47 気候変動の緩和と適応
- 53 資源循環への貢献
- 56 自然資本の持続可能な利用
- 57 DXによる競争力強化
- 61 人材（DE&I、育成・成長、健康）

Business

- 65 エッセンシャルケミカルズ
- 67 情報電子化学/エネルギー・機能材料
- 71 健康・農業関連事業
- 73 医薬品

Management

- 77 取締役会議長×社外取締役 ガバナンス特別対談
- 81 コーポレート・ガバナンス
- 87 親子上場／内部統制／リスクマネジメント
- 89 役員一覧

Data Section

- 93 会社・投資家情報
- 95 長期データハイライト
- 97 連結財務諸表

見通しに関する注意事項

本住友化学レポートに記載されている当社の現在の計画、戦略、業績予想などの、既存の事実ではない内容は、将来に関する見通しであり、リスクや不確定要因を含んでいます。実績がこれらの内容と乖離する要因となり得るものとして、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場における当社の製品に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、厳しい競争市場において当社が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。ただし、要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料での財務数値について

住友化学グループは2018年3月期より、従来の日本基準に代えてIFRSを適用しており、2017年3月期の数値をIFRSに組み替えて比較分析を行っています。

価値協創ガイダンス

経済産業省が策定した「価値協創ガイダンス」は、企業と投資家を繋ぐ「共通言語」であり、企業が投資家に伝えるべき情報を体系的・統合的に整理し、情報開示や投資家との対話の質を高めるための手引きです。本レポートでは、主に価値創造フローにて本ガイダンスを参考にしています。



「住友化学レポート2024」発行にあたって

住友化学レポート2024のポイント

当社では、『住友化学レポート』『インベスターズハンドブック』『サステナビリティレポート』の3つのレポートを発行しています。本年度から3つのレポートの連携をより強化し、相互に参照ページのリンクを掲載することにより、各媒体へのアクセシビリティを向上させています。これにより、特に住友化学レポートではお伝えしたいポイントに絞って構成しています。

本年度の住友化学レポートでは、足元の業績からの回復と成長に向けた構造改革に焦点を当てています。成長が期待されるリジェネラティブ農業関連事業や、当社の技術・アセットを活かしたイノベーション戦略等の紹介を通して、構造改革ならびに当社の持続的な価値創造の実現性の高さをお伝えすることを目指し、編集しました。

業績回復と成長に向けた構造改革

- トップメッセージ
- 中期経営計画および構造改革の進捗

当社の成長を牽引する事業

- 住友化学のリジェネラティブ農業

当社の成長を支える技術力

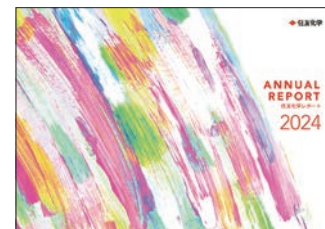
- イノベーションの推進

ガバナンス特別対談

- 取締役会議長×社外取締役 ガバナンス特別対談

情報開示体系

3つのレポート



住友化学レポート

当社事業の強みや戦略、課題、業績などを総合的にまとめた統合報告書です。株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様に、当社の価値創造をわかりやすく伝えることを目指しています。

インベスターズ ハンドブック

当社の幅広い事業・製品について、市場動向を交えながら詳細に解説しています。



サステナビリティ レポート

環境・社会・ガバナンスの側面から、当社の詳細なサステナビリティ情報を網羅的に掲載しています。



ホームページ

- 株主・投資家情報
- サステナビリティ情報

SNS

LinkedIn
公式アカウント



コーポレート
YouTube チャンネル



表紙の解説

真っ白なキャンバスに、自由な筆遣いで溢れる躍動感を表現するビジュアルを通じて、逆境を乗り越え、希望に満ちた未来に向けた揺るぎない変革への当社の決意を映しています。さらに、多様な色彩を使用することで、当社が保有する多岐にわたる技術・サービス・資源を活用し、企業価値向上を目指す当社の姿勢を表現しています。

激変する社会に 価値を提供するため 私たちはどう変わるか

地球環境の変化

気候変動をはじめ、自然環境の変化は常に進行しています。自然環境が破壊されることは私たち人間だけでなく、地球上に住むあらゆる生物・植物に悪影響を及ぼします。近年では異常気象やそれに起因する災害等によって、農作物の収穫への悪影響や生態系バランスの崩壊が生じているともいわれ、地球環境の変化により引き起こされる問題は以前より多様かつ頻繁に発生するようになっています。

デジタル技術の進展

IoT、5Gなど新たなデジタル技術革新により、DX(デジタルトランスフォーメーション)が推進され、私たちの生活は大きく変化しました。特に、生成AIの進展は化学を含めた多くの分野で革新をもたらしています。今後ますますデジタル技術の活用は加速し、私たちの生活だけでなく、社会構造や産業様式が大きく変化することが予想されます。

世界の人々の健康

世界にはまだまだ治療法が十分に確立されていない病気や、地域により受けられる医療が限られる医療格差などの課題があります。また、先進国における疾患予防のための健康意識の高まりなど、世界の医療ニーズは多種多様です。世界中の人々が健康的な生活を確保し、QOL(Quality of Life)を向上させ、幸せな生活を営めるソリューションが世界中で求められています。

不安定な社会情勢

各国の保護主義、ロシアによるウクライナ侵攻、インフレの高止まりや金融不安などにより、世界情勢は不安定な状況が続いています。このような環境下では、予期できない潜在的なリスクが数多く存在しており、政府をはじめ、各企業もそれらに対応していかなければなりません。

住友化学独自のGXで 社会に貢献する

住友化学独自のGX

従来のGXが指す、カーボンニュートラルがもたらす社会・経済の変革だけでなく、生態系保全と健康促進を含めた広い範囲での変革と捉え、GXを通じた価値創造で社会変化に対応する未来の“答え”を創造していきます。

カーボンニュートラル

世界中が知恵を出し合い、2050年のカーボンニュートラルという難問に立ち向かっています。当社は化学企業として、強みである技術力を最大限に駆使し、先陣を切ってイノベーションを起こすことで、この大きな課題の解決に貢献したいと考えています。

3つの 方向性

生態系保全

近年、「2030年までに自然資本の減少を食い止め、回復の軌道に乗せる」という目標が国際社会で広く支持されています。当社の事業はさまざまな自然の恩恵の上に成り立っていることを改めて認識し、限りある自然を持続的に利用できるよう、取り組みを進めます。

健康促進

私たちはここ数年で、健康に暮らすことのありがたみを実感しています。当社は、世界の人々が健康的な生活を送る手助けとなる事業を展開するとともに、従業員が大切な人生の時間を過ごす場所として、健康に生き生きと働ける職場を提供したいと考えています。